



Takaoka's
Stool

2006nt

長年お住まいの和風住宅を取り壊し、新たにマンションへと建て替えされたご家族が「昔の家のなごり」としてとっておいた廊下のけやきの無垢板をスツールに作り替えた、いわゆる「家具版リフォーム」です。

昔から、名寺などの古材を茶室の部材や道具に作りなおすなど、仕立てなおしてその歴史と価値を大事に受け継ぐ精神があります。このけやきの板も現在の暮らしに活かされる形に変えることで昔の家の思い出がさらに引き継がれることにもなります。

大切な、そして木材としても美しいけやきの板を小細工はせずにシンプルにデザイン、板の厚み部分を斜めにカットすることで、板がより重厚に見えるようにしています。スツールの幅にするために、二枚の板を剥ぎ合わすことになったため、剥ぎ目にウェンジ材を細く入れたことが、アクセントにもなっています。

製作して数年経った現在もご依頼主の Takaoka 様のお宅に伺うことがあります。さらに板の色が深みを増して、今もあらたな歴史が刻まれています。

“Furniture renovation” - making stools from wood floor of old house as memory. Even living in new house now, the wood continues to live as a part of the family. Zelkoova(Keyaki) wood and wenge wood line with natural oil finish.